

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和8年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		坂口安吾顕彰事業補助金 本市ゆかりの坂口安吾を顕彰し、安吾の普及啓発にあたる事業を対象に補助を行う。						
款・項・目		総務費・総務管理費・文化振興費						
所属等		文化スポーツ部 文化政策課 未来創造グループ 電話025-226-2624						

年 度		令和5年度（1年目）	令和6年度（2年目）	令和7年度（3年目）
予算額等の推移	予算(千円)	10,170	9,731	9,817
	決算(千円)	10,139	9,677	9,817
補助率		10/10	10/10	10/10
目 標		本市ゆかりの作家である坂口安吾を顕彰し、普及啓発につとめる。 <目標が数値でない場合の評価方法> イベントやアウトリーチ活動の満足度、ホームページへの訪問者数など、本市の文化振興に寄与しているか総合的に評価する。		
目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	旧市長公舎「安吾 風の館」で展覧会を3回開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実を図り、安吾顕彰団体と連携した生誕祭を行い、坂口安吾の顕彰、普及啓発を図ることができた。 （耐震診断の結果及び能登半島地震の発生を鑑み、1月4日より旧市長公舎の公開を休止） （参考実績） 生誕祭満足度：67.6% ホームページ訪問者数（アクティビュアー数）：31,863	ほんぽーと新潟市立中央図書館で、展覧会と講演会を開催した。また、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実を図り、安吾顕彰団体と連携した生誕祭を行ったほか、新たに高校へのアウトリーチを開始するなど、安吾の普及啓発に努めた。 （参考実績） 生誕祭満足度：79.7% アウトリーチ活動満足度：93.9% ホームページ訪問者数（アクティビュアー数）：36,176	実践女子大学香雪記念資料館および神奈川近代文学館への資料貸出や高校でのアウトリーチを実施し、県外や若年層への普及啓発に努めた。また、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実を図り、安吾顕彰団体と連携した生誕祭を行った。
補助事業者による情報の公表		（公財）新潟市芸術文化振興財団ホームページ		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> b：本市ゆかりの文化人である坂口安吾を研究し、普及啓発することは文化都市としての本市の務めであり、また本市のイメージ向上に大きく貢献しており、1/2以上の補助はやむを得ないとする。 <g～hにおける取組> g：顕彰事業は数値だけで成果を十分に図ることが難しく、事業目的や関係団体との連携状況など質的側面も重要であり、評価にあたっては、実施状況及び参考実績などを総合的に勘案して評価することが適当であると考えた。 <期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
目標未達成の原因分析	① 拡充 ・ 改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 令和8年度は、本市出身の偉大な文学者・坂口安吾の生誕120年を迎えるメモリアルイヤーにあたることから、全国的にも知られる安吾作品を活用し、文化の継承やシビックプライドの醸成を図り、合わせて交流人口の拡大につなげる必要があるため。				